# 厚生労働科学研究費補助金

### 難治性疾患等政策研究事業 ( 難治性疾患政策研究事業 )

分担研究報告書

# 疾患登録やフォローアップ体制の構築について

研究分担者 北岡 有喜 京都医療センター 医療情報部長

# 【研究要旨】

小児期からの希少難治性消化管疾患は、ヒルシュスプルング病類縁疾患、ヒルシュスプルング病、非特異性多発性小腸潰瘍症、先天性吸収不全症、仙尾部奇形腫、腹部リンパ管腫など、胎児期・新生児期や小児期に発症し成人に至る長期的な経過をとるものが多い。これらの疾患は特定疾患の4条件をいずれも満たすものが多く含まれているが、特定疾患に指定されていない。したがってこれらの疾患に適切な医療政策を施行していただくために、関連する7つの学会・研究会およびNCDと連携し、Mindsに指導を仰ぎながら、全国調査による病態把握と適切な疾患分類に基づく診断基準や重症度分類の作成、移行期、成人期までを包含する診断治療のガイドラインを作成することが本研究事業の目的である。

本目的を達成するためには、全国調査による病態把握と適切な疾患分類に基づく診断基準や 重症度分類の作成、移行期、成人期までを包含する診療情報データベース基盤を構築し、情報 収集し、分析することが必要である。

分担研究者が考案・開発した「ポケットカルテ」は、本邦で実稼働中のクラウド型個人向け健康・医療・福祉・介護情報管理(Personal Health Records: PHR)サービスである。2008年のサービス開始以降、昨年末時点でフルサービス利用者数は45,000人を越え、電子版透析手帳など緊急事態対応のための限定利用者数を加えると80,000人を越える。この「ポケットカルテ」に「電子版母子手帳」および「NICU退院手帳」機能を追加予定としていたが、本研究事業研究代表者名の田口智章氏より、このNICU退院手帳機能に、ヒルシュスプルング病類縁疾患、ヒルシュスプルング病、非特異性多発性小腸潰瘍症、先天性吸収不全症、仙尾部奇形腫、腹部リンパ管腫など、胎児期・新生児期や小児期に発症し成人に至る長期的な経過をとる希少難治性消化管疾患のフォローアップ機能の追加実装と、その利用による全国に居住する対象者の全数登録による病態把握と適切な疾患分類に基づく診断基準や重症度分類の作成、移行期、成人期までを包含する診療情報データベース収集基盤構築の依頼があり、「ポケットカルテ」上に同機能を実装するための要求仕様作成とテスト実装を行った。

### A.研究目的

分担研究者が考案・開発した「ポケットカルテ」クラウドに実装中のNICU退院手帳機能に、ヒルシュスプルング病類縁疾患、ヒルシュ

スプルング病、非特異性多発性小腸潰瘍症、先 天性吸収不全症、仙尾部奇形腫、腹部リンパ管 腫など、胎児期・新生児期や小児期に発症し成 人に至る長期的な経過をとる希少難治性消化管 疾患のフォローアップ機能の追加実装と、その利用による全国に居住する対象者の全数登録による病態把握と適切な疾患分類に基づく診断基準や重症度分類の作成、移行期、成人期までを包含する診療情報データベース収集基盤を構築する。

#### B.研究方法

本邦で実稼働中のクラウド型個人向け健康・ 医療・福祉・介護情報管理 (PHR) サービス「ポ ケットカルティに実装中のNICU退院手帳機能 を基板システムとして、ヒルシュスプルング病 類縁疾患、ヒルシュスプルング病、非特異性多 発性小腸潰瘍症、先天性吸収不全症、仙尾部奇 形腫、腹部リンパ管腫など、胎児期・新生児期 や小児期に発症し成人に至る長期的な経過をと る希少難治性消化管疾患のフォローアップ機能 の追加実装と、その利用による全国に居住する 対象者の全数登録による病態把握と適切な疾患 分類に基づく診断基準や重症度分類の作成、移 行期、成人期までを包含する診療情報データ ベース収集基盤を構築するために、情報収集項 目や表示様式などの要求仕様作成とテスト実装 を行った。

# (倫理面への配慮)

本分担研究では対象研究無し

# C. 研究結果

- 基盤となる「ポケットカルテ」の「NICU 退院手帳」を平成26年12月に構築した。 (別紙1)
- 2. 「NICU退院手帳」の運用開始のための患 児保護者向けパンフレットを平成26年12 月に作成した。(別紙2)
- 3. 「NICU退院手帳」を平成27年4月に本番運 用開始予定である。

- 4. 「NICU退院手帳」へサンプル疾患の登録と長期フォローアップ体制(現時点ではサンプル疾患としてヒルシュスプルング病類縁疾患を想定)を平成27年4月に実装予定である。
- 5. 「NICU退院手帳」へ実装したサンプル疾 患の登録と長期フォローアップ体制の運 用を平成27年10月に開始予定である。
- 6. 平成28年4月以降、サンプル疾患以外の希 少難治性消化管疾患症例の登録と長期 フォローアップ体制を順次展開予定であ る。

#### D . 考察

本邦で実稼働中のクラウド型個人向け健康・ 医療・福祉・介護情報管理(PHR)サービス「ポケットカルテ」に実装中のNICU退院手帳機能 を基板システムとして利用することにより、新たなシステムを一から構築する場合に比べて、 極めて短時間にかつ極めて低コストで希少難治 性消化管疾患症例の登録と長期フォローアップ 体制を構築・運用出来る可能性を証明できた。

# E.結論

クラウド型個人向け健康・医療・福祉・介護情報管理(PHR)サービス「ポケットカルテ」に実装中のNICU退院手帳機能基板に、ヒルシュスプルング病、非特異性多発性小腸潰瘍症、先天性吸収不全症、仙尾部奇形腫、腹部リンパ管腫など、胎児期・新生児期や小児期に発症し成人に至る長期的な経過をとる希少難治性消化管疾患のフォローアップ機能の追加実装と、その利用による全国に居住する対象者の全数登録による病態把握と適切な疾患分類に基づく診断基準や重症度分類の作成、移行期、成人期までを包含する診療情報データベース収集基盤を構築するための

要求仕様作成とテスト実装を行った。

平成27年10月以降、サンプル疾患以外の希 少難治性消化管疾患症例の登録と長期フォロー アップ体制を順次展開予定である。

# F.研究発表

# 1. 論文発表

北岡有喜.根拠に基づく保健福祉政策の実現に関する研究 新たな指標「健康費」の概念 形成について .同志社大学大学院総合政策科学研究科博士論文(甲第652号)同志社大学学 術レポジトリ.2014

北岡有喜.ポケットカルテこれまでの取組と ハイリスク児フォローアップなど今後の展開に ついて.日本周産期・新生児医学会雑誌.50(2): 554, 2014

# 2. 学会発表

北岡有喜. ポケットカルテこれまでの取組とハイリスク児フォローアップなど今後の展開について. 教育講演13.日本周産期・新生児医学会. シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル. 2014年7月14日.

G. 知的財産権の出願・登録状況 なし

# (別紙1)

【実装内容】胎児治療児における長期フォローアップについての研究において、必要な項目を、児の両親が管理可能な手帳構成項目表示機能をポケットカルテに追加した。既にポケットカルテに登録されている項目については、ポケットカルテのデータベースから呼び出し、新規の項目については入力画面を設けた。また、スマートフォン・タブレット端末・パソコンなどの複数の端末からの利用を考慮し、ウィンドウサイズによってボタンの配置などが自動で変わるように実装している。

# 【実装項目】 基本情報(両親氏名や児の氏名など)

連絡先(フォローアップの際の連絡先情報)

関連施設(出生施設名や連絡先など)

出生児記録(出生児の身長、体重など)

疾病分野別フォロー予定区分(疾患名、治療の情報)

発達検査(乳幼児や小学生での検査の結果)

腎機能その他 (腎機能の検査結果など)

# 【画面イメージ】

















# (別紙2)

「NICU退院手帳」の運用開始のための患児保護者向けパンフレット作成:達成済み(26年12月)

